

まちなみデザイン20選
まちなみデザイン貢献賞
選集



名古屋市

第1回 名古屋まちなみデザインセレクション



名古屋市長
河村 たかし

名古屋まちなみデザインセレクションによせて

名古屋のまちは、1900年前の熱田神宮創祀から、家康による400年前の城下町の形成、100m道路の整備や平和公園への墓地移転に代表される名古屋独自の大胆な戦災復興などいくつかの転機を経て、非常に機能的なまちとして日本の産業を牽引する大都市へと発展してきました。

しかし、グローバル化や都市間競争が激しくなる中で、まちづくりの歴史の積み重ねを大切にしつつ世界に冠たる名所をつくり、みんなが集い、楽しく自慢できるまちを創造することが求められる時代を迎えています。

「名古屋まちなみデザインセレクション」では、これまで実績を重ねてきた都市景観賞をリニューアルし、市民の皆さんが大切にしたい、誇らしい名古屋の風景を対象とすることとしました。

第1回となる今回は、市民の皆さんから300件を超える「お気に入りの風景」を応募いただき、市民投票による【まちなみデザイン20選】、選考委員の方々の選考による【まちなみデザイン貢献賞】を決定しました。

今後も、市民の皆さんが選ぶ誇らしい風景と、良好な風景づくりに携わる方々の活躍を宝物として、自慢できるまち名古屋をつくっていききたいと思います。



選考総評
選考委員会委員長
谷口 元

まちなみデザイン貢献賞の意義

—自然と人工の協調を目指して—

現代都市は今や、繁栄と衰退がごちゃ混ぜになり、そこで生活する、あるいは訪問する人々の目前に、その窮状をさらしているように思えてなりません。永年にわたって景観行政に取り組んできた名古屋ですが、その成果が「目に見えて表れてきたか」と言うと、必ずしもそうとは言えません。行政による規制や指導のもとでは、自分の建物は思いのままにしたいと思う人の気持ちを抑えることしか出来ず、まちが良くなることに貢献したいという人を増やすことに、必ずしもつながらないからです。また、このような現代都市・現代建築を作ってきた担い手たちだけに委ねただけでは限界があることがわかってきました。

これまでの都市景観賞の選考は、当初建築や都市の専門家を中心になっており、新しいデザイン・立派な建物が主となっていましたが、次第に市民目線に立つことや市民の参加をうながすように改められてきました。このたびの【まちなみデザイン貢献賞】では大幅に選考の仕組みを変え、名古屋の風景に対する市民の率直な声を出発点とすることとしました。そのこともあり、新地下鉄駅とまちをつなぐようにつくられた商業と公共の複合施設、先代が所有していたビルを高さを抑えて建替え、水際の景観とにぎわい創出をめざした商業施設、駅と住宅街をつなぎ、みずからもまちの要素を取り込んだ病院、数十年の年月をかけて豊かに茂る並木道、都心に残る里山の再生の試み、圧倒的な存在感に心打たれる千年の古樹など、従来以上に特色ある事例を選定できたと思っています。

第1回名古屋まちなみデザインセレクションの概要

趣旨

市民の皆さんにとって、身近な名古屋の風景をとりあげ、「お気に入りの風景」に関する応募や市民投票への参加などをきっかけとして、名古屋のまちへの愛着や誇りを高め、魅力ある風景づくりへの関心をもっていただくことを期待して実施しました。

流れ

お気に入りの風景の募集(平成24年7月2日～8月20日)

市民の皆さんから“好き”“大切にしたい”と思うお気に入りの風景の情報を募集しました。
その結果、338件の風景の応募がありました。

応募風景の整理

まちなみ デザイン20選

応募風景の中から、市民の皆さんが“好き”“大切にしたい”風景を市民投票により選定するものです。

市民投票では、応募風景を整理した候補風景302件の中から1人5件までを会場投票またはインターネット投票により投票していただきました。

会場投票 平成24年10月13・14・27・28日/オアシス21
平成24年10月20・21日/名古屋都市センター

特設会場において候補風景紹介パネルを見て投票。



インターネット投票 平成24年10月1日～31日

市公式ウェブサイトまたはGoogle+の候補風景紹介ページを見て、E-mailまたはGoogle+「+1」にて投票。

選定結果(投票総数 2,723人13,032票)

- セントラルブリッジからみた名古屋テレビ塔のライトアップ
- 山崎川の桜
- 徳川園の塀と緑
- 名城公園「藤の回廊」と名古屋城大天守
- 東山新池からみた東山公園と東山スカイタワー
- 名古屋港ガーデンふ頭のイルミネーション
- 森孝西の桜並木
- オアシス21「水の宇宙船」の上と、そこからみた名古屋テレビ塔
- 名古屋テレビ塔とオアシス21
- 丸型ポストのある有松の町並み
- 中川運河松重閘門
- 納屋橋の雪景色
- 大須観音
- 大高緑地 竹林散策路
- 井桁屋付近の有松の町並み
- SUNSHINE SAKAE観覧車のライトアップ
- 名古屋城内堀から見上げた名古屋城大天守
- 荒子川フェニックスアイランドの日の出
- 名古屋城本丸からみた名古屋城天守
- 覚王山ル・アンジェ教会

[得票順に記載]

まちなみ デザイン貢献賞

応募風景の中から、良好な風景に貢献している建築物・屋外広告物・まちづくり活動等(過去に都市景観賞を受賞しているものは除く)を選考委員会において選考し、その所有者・設計者・活動団体等を表彰するものです。

名古屋まちなみデザインセレクション選考委員会

[氏名]	[専門分野]	
岡田 憲久	ランドスケープ	名古屋造形大学大学院教授
稀温	デザイン	コーディネーター
黒田 千香子	デザイン	国際デザインセンター部長
水津 功	ランドスケープ	愛知県立芸術大学准教授
◎谷口 元	建築	名古屋大学大学院教授
中島 幸子	文化	名古屋リビング新聞社部長
廣瀬 高保	建築	愛知建築士会副会長

[五十音順/敬称略/◎印は委員長]

第1回選考委員会 書類選考

平成24年9月26日
名古屋都市センター

候補物件の絞り込み。



21件へ

第2回選考委員会 最終選考

平成24年11月29日
現地・名古屋都市センター

候補物件の現地視察を実施し、それを踏まえ
貢献賞を決定。

選考結果

- 東山の森「里山の家」と「くらしの森」
- 納屋橋CUBES
- 桜通のイチョウ並木
- 村上社のクスノキ
- 総合病院 南生協病院
- ヒルズウォーク徳重ガーデンズ、
交通広場・テラス広場及びユメリア徳重

[行政区順に記載]

セントラルブリッジからみた 名古屋テレビ塔のライトアップ

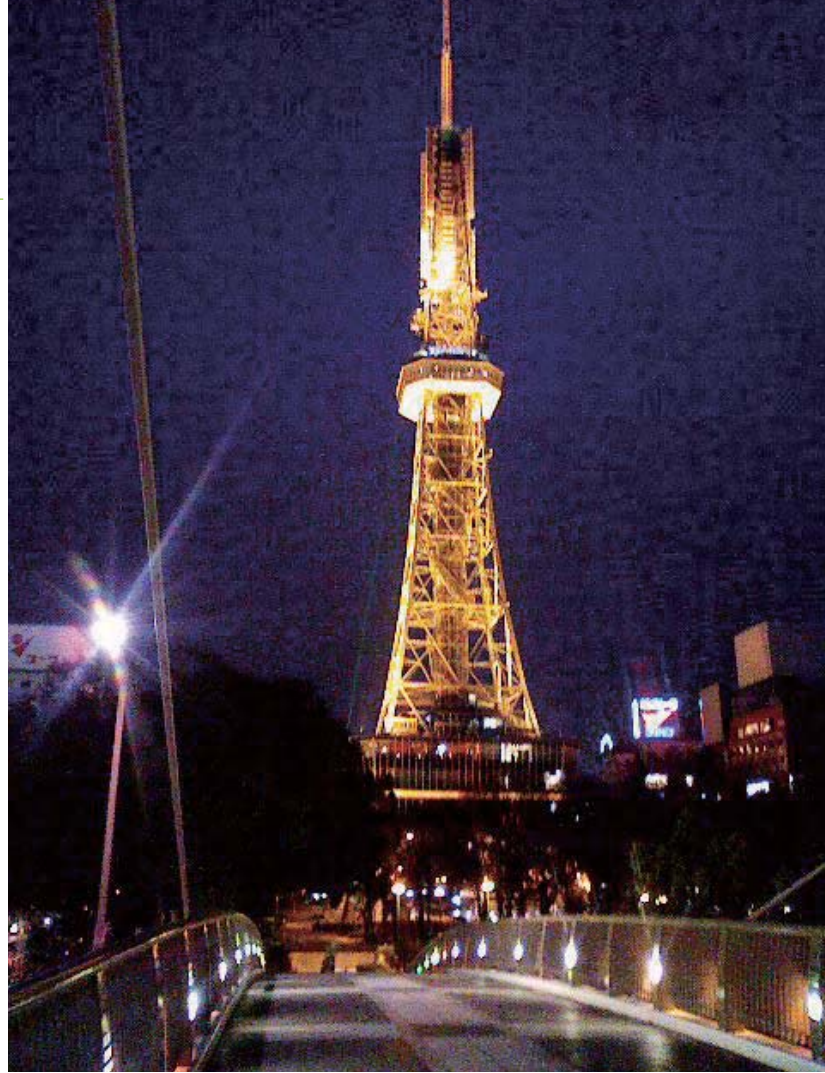
応募者のコメント

夜にライトアップされたテレビ塔も素敵です。



所在地
(名古屋テレビ塔) 中区錦三丁目
(セントラルブリッジ) 桜通

テレビ塔のライトアップは平成元年開始。デザイン博の際に設置された投光器52基が市へ寄付された。東日本大震災の追悼のキャンドルナイトの際には消灯される。アンテナは平成24年4月に撤去されている。セントラルブリッジは、昭和57年(1982)に完成した桜通を跨ぎ久屋大通公園を結ぶ斜張橋形式の歩道橋で、一部費用は企業の寄付による。



山崎川の桜

応募者のコメント

どこまでも桜のトンネルが続いていて見応えがあります。



所在地
石川橋(昭和区)～新瑞橋(瑞穂区)

山崎川の桜は、昭和3年(1928)石川土地区画整理組合の解散記念として石川橋から左右田橋まで植えたのがはじまり。伊勢湾台風で大きな損傷を受けたが復旧。現在は石川橋から新瑞橋までの2.8kmに約600本のソメイヨシノが植えられている。特に木造で風情のある鼎小橋(平成7年度都市景観賞)付近が見所。財団法人日本さくらの会認定の「さくらの名所100選」。

徳川園の塀と緑

応募者のコメント 匠の技。〔栗原芳明さん〕
塀と緑がマッチして、とてもきれいです。



所在地
東区徳川町

昭和6年(1931)尾張徳川家19代当主義親から邸宅と庭園の寄付を受けた市が整備改修を行い翌年「徳川園」として公開。昭和20年(1945)の空襲で大部分を焼失したが、塀は一部残った。それらは明治33年(1900)以前に造られたとされる歴史ある塀で、平成16年日本庭園として再整備された際に一部補修され、現在も黒門の北側及び階段状の箇所(写真)にその姿を残している。



名城公園「藤の回廊」と名古屋城大天守

応募者のコメント 藤の濃い紫色と名古屋城の瓦の青銅色のコントラストがとても美しいです。



所在地
(藤の回廊)北区名城一丁目ほか
(名古屋城)中区本丸

藤の回廊は、花の名所公園整備として昭和59年度から3ヵ年計画で市が整備。名古屋城東門から南遊園まで棚延長660m、棚面積3,300㎡。城と石垣を背景に、野田藤、三尺藤、花美短藤など9種類85本が植えられ、さまざまな色が楽しめる。見頃はゴールデンウィーク前後。

東山新池からみた東山公園と東山スカイタワー

応募者のコメント

東山動植物園とスカイタワーもすっかり名古屋の代表的な風景になったと思います。
夕日を反射して輝くスカイタワーが素敵でした。



所在地

(東山公園)千種区東山元町

(東山スカイタワー)千種区田代町瓶杓

東山公園は、大正15年(1926)日本で初めて公園の都市計画がされた名古屋の24公園の1つで昭和10年(1935)に開園。公園内に植物園が昭和12年(1937)3月3日、動物園が同月24日開園。東山スカイタワーは、市制100年を記念して平成元年開業した海拔80mの高台に立つ高さ134mの展望塔で平成3年度都市景観賞受賞。

名古屋港ガーデンふ頭のイルミネーション

応募者のコメント

夏休みに入り国内外の皆さんをはじめ保育園の園児が父兄同伴で夕涼みに訪れる名港ガーデンふ頭!!〔渡邊弘岳さん〕



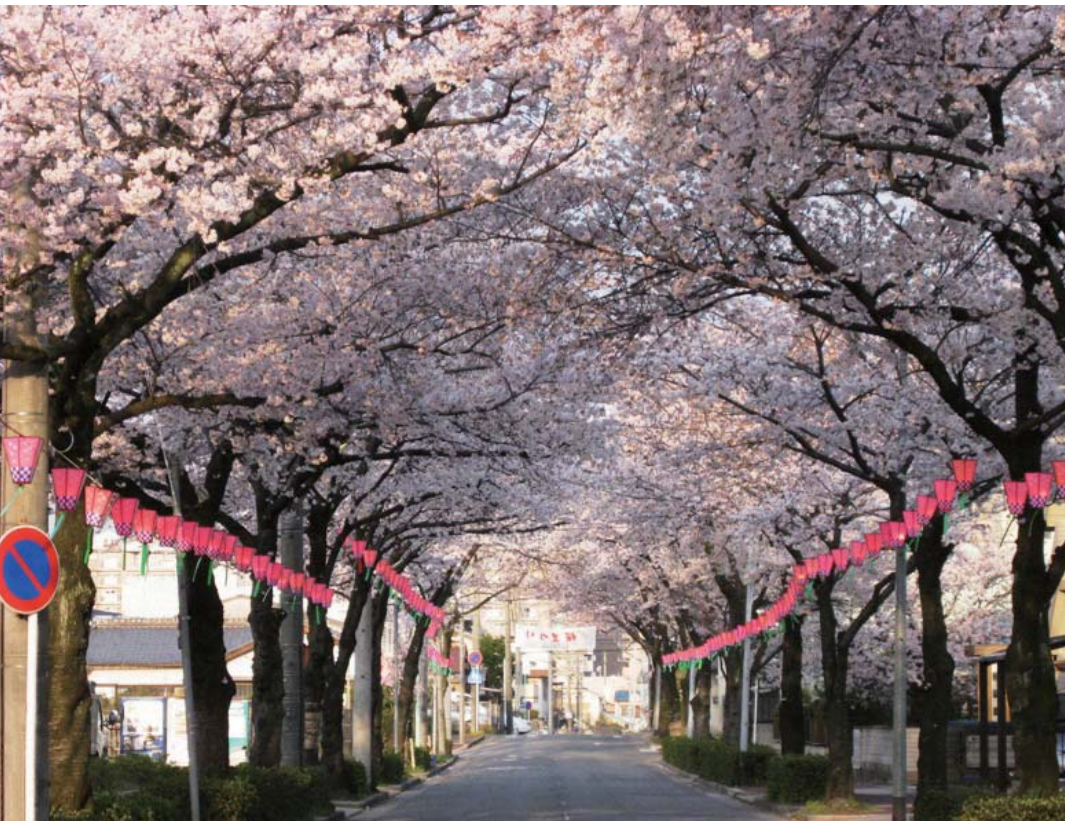
所在地

港区港町

ガーデンふ頭のイルミネーションは、平成元年のポートビルのライトアップを皮切りに平成2年南極観測船ふじ、平成3年名古屋港水族館南館など次々と広がり、平成16年にイルカ、平成19年にシャチのイルミネーションが始まった。概ね日没から22時まで通年で楽しむ、11月下旬からクリスマスまでは、平成7年度都市景観賞(イベント賞)受賞のスター☆ライトレビューも実施。



応募者のコメント 桜の咲く季節、夕暮れ時に赤いぼんぼりが桜並木を映し出す風景はこの街に住んでいて良かったと感じられます。



所在地
守山区森孝二丁目～三丁目

桜並木のある14m道路は、東西に陸軍兵器補給廠守山分廠があったため、戦中から舗装され兵隊や戦車が通行していた。森孝西学区設立を控えた昭和54年(1979)、約300mにわたりソメイヨシノ61本が植樹された。昭和62年(1987)から4月第1土曜日に学区が桜祭りを開催。3月下旬から4月上旬に設置されるぼんぼりは協賛金による。眺めは西からが特に良好で夜もきれい。

応募者のコメント 近未来的な感じが好きです。テレビ塔とセットで、名古屋を代表する眺めです。



所在地
(オアシス21)東区東桜一丁目
(名古屋テレビ塔)中区錦三丁目

オアシス21のシンボル「水の宇宙船」は、さまざまなイベントが催される「銀河の広場」の上にある地上14mの大屋根。ガラス張りの屋上には水面・園路・ベンチがあり、栄周辺の景観を楽しむスポットとなっている。10時から21時まで開放されている。



名古屋テレビ塔とオアシス21

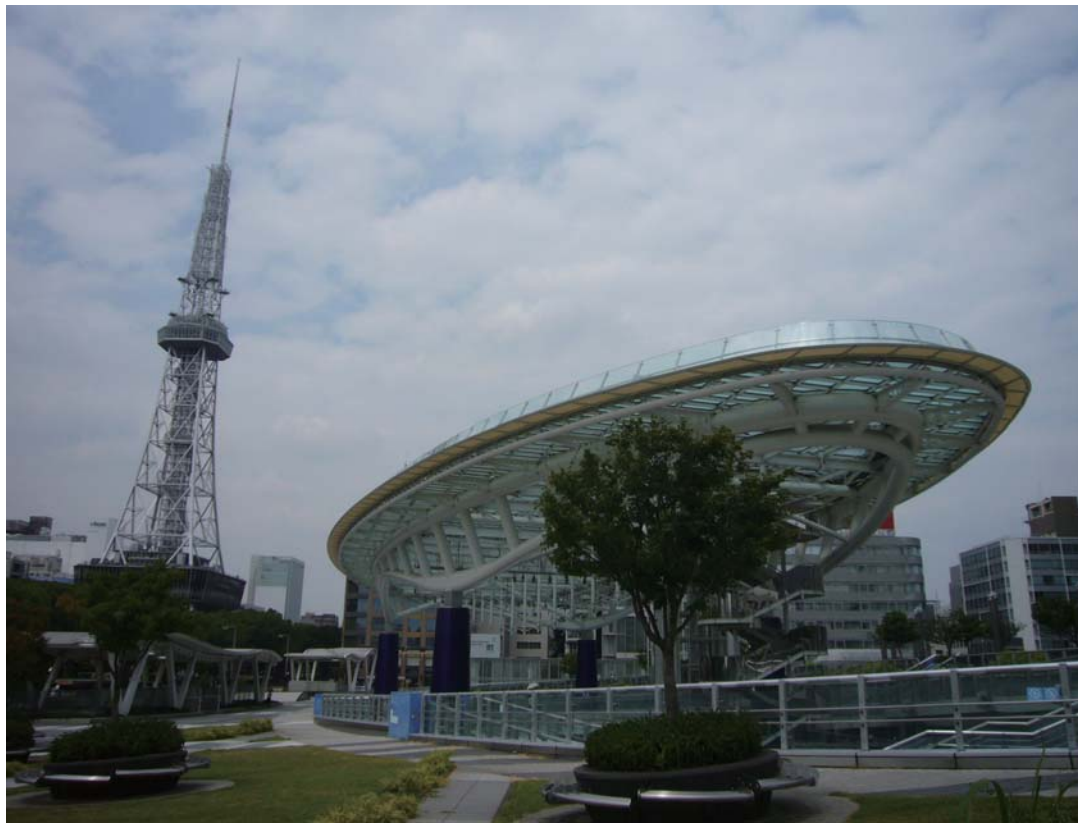
応募者のコメント

名古屋のシンボル「テレビ塔」と新たな名古屋の名所となったオアシス21の「水の宇宙船」が一望できるこの景観によって、都心の雰囲気がより良くなっていると思います。



所在地
 (名古屋テレビ塔)中区錦三丁目
 (オアシス21)東区東桜一丁目

名古屋テレビ塔は昭和29年(1954)に完成。高さ180mで約7年おきに塗替えられる。平成17年国土の歴史的景観に寄与しているものとして国の登録有形文化財に指定。オアシス21は平成14年に完成し平成15年度都市景観賞(大賞)受賞。芝生や植栽のきれいな「緑の大地」のほか「銀河の広場」・「水の宇宙船」・バスターミナル・店舗等がある。



丸型ポストのある有松の町並み

応募者のコメント

古い町並みには、いまだに昔ながらの赤く丸い郵便ポストが2つ残っています。古い町並みに馴染んでいます。[小柳津誠さん]



所在地
 緑区有松(旧東海道)

名古屋市内に3つ残る赤い丸型ポストのうち2つは有松の旧東海道にある。昭和59年(1984)定形・定形外が区別でき容量が大きいなど機能で勝る四角いポストに一旦変更されたが、地元の学区や有松まちづくりの会による「町並みにふさわしいポストを」との要望に応え、西側のポスト(写真)は昭和62年(1987)に、有松郵便局前のポストは平成11年に復活した。

中川運河松重閘門

応募者のコメント

かつて水面利用が盛んだった時代に、名古屋の2大運河(堀川、中川運河)を繋いだ松重閘門。役目を終えた松重閘門が今もなお、名古屋市民の方々から愛され続けている点に、非常に共感しました。夜には、ライトアップがされ、来訪者の方々にも広く親しまれています。昼には人々が憩う場、夜には人々を楽しませる場として、これからも名古屋のシンボルの役割を担っていきます。[田中雄基さん]



所在地
中川区山王一丁目



昭和5年(1930)完成。高さ約20m。昭和61年(1986)名古屋市指定有形文化財、平成5年名古屋市都市景観重要工作物に指定。

納屋橋の雪景色

応募者のコメント

めったに見られない雪の納屋橋素敵です。[岡田巖さんのスケッチ/愛知建築士会名古屋西支部青年委員会]



所在地
堀川(中区栄一丁目、錦一丁目、
中村区名駅南一丁目付近)

納屋橋は、慶長15年(1610)堀川開削とともに架けられた「堀川七橋」の一つ。現在の橋は大正2年(1913)に鉄骨造で架けられた橋を昭和56年(1981)に改築。中央部にテラスを持つ青銅鑄鉄の欄干に前代の橋のものが使われ、アーチは前代の面影を残すために飾りとして残されている。平成元年名古屋市都市景観重要工作物に指定。

大須観音

応募者のコメント

一ヶ月に一回は行っている私のお気に入りの場所です。写真は昼に撮りましたが夕焼けで見る大須観音はとてもキレイです！〔鹿嶋茉友さん〕



所在地
中区大須二丁目

江戸初期に現在の羽島市から移転した大須観音は、明治の大火と空襲によりその多くを二度焼失したが、耐火構造の文庫は空襲でも残り古事記など貴重な書物を保管。昭和45年(1970)に再建された現在の本堂は南向きであるが、昭和24年(1949)に建立された仮本堂までは東向きであった。また、文化11年(1814)に城下の寄付により工事が始まった五重塔が明治大火前までであった。

大高緑地 竹林散策路

応募者のコメント

大高緑地にはまるで京都の嵯峨野を思わせる様な竹林散策路が整備されています。小鳥のさえずりを聞きながらの散歩にはもってこいです。〔小柳津誠さん〕



所在地
(大高緑地)緑区大高町字高山

竹林散策路は、緑地内で竹の侵食を防ぐために竹を伐採していた平成17年夏、里山の風景を再現したいと現地職員が発案し同年秋から職員が5ヶ月に及ぶ手作業で完成させた。その後は市民団体の協力を得ながら適切な管理を続け、園路には剪定枝を敷き歩きやすくし6月頃にはヒメボタルも飛交う。春には里山を体感できるイベントとして竹の子掘りが行われる。



井桁屋付近の有松の町並み

応募者のコメント

古い町並みの続く有松旧東海道筋にはしほりに携わった商家が多くありますが、この井桁屋さんの夜景が好きでホッとします。〔小柳津誠さん〕



所在地
緑区有松(旧東海道)

有松の町並みは、緩やかな曲線の旧東海道沿いに、天明4年(1784)の大火以降の比較的ゆったりとした間口の広い建物が建ち並ぶ。道路側にみせる瓦の屋根や庇、白や黒のしっくい塗りの壁、格子窓も見所。電線地中化と一方通行化が平成25年3月完了。昭和59年(1984)名古屋市内町並み保存地区指定。有松まちづくりの会及び有松の町並みは平成7年度都市景観賞(特別賞)受賞。

SUNSHINE SAKAE 観覧車のライトアップ

応募者のコメント

昼も夜もとてもにぎやかで活気があふれている栄の街。夜になると光がたくさんとてもきれいです。その中でも特に輝いているのがこの観覧車です。ライトアップされている観覧車を見ると夜でもにぎやかな栄に元気をもらえます。〔若水中学校写真部・田邊直美さん〕



所在地
中区錦三丁目

観覧車は誰でも楽しめる栄のシンボル・ランドマークを目指し平成17年完成。高さ52m、直径40mで28あるゴンドラ上部から水銀灯で中心を白く照らし、ゴンドラ下部のネオンが、春と夏は青・緑、秋と冬は黄・赤を基調に、クリスマスにはLEDのイルミネーションと共に緑・赤に光る。ライトアップは16時から翌5時。回転は11時から23時までで一周約15分。

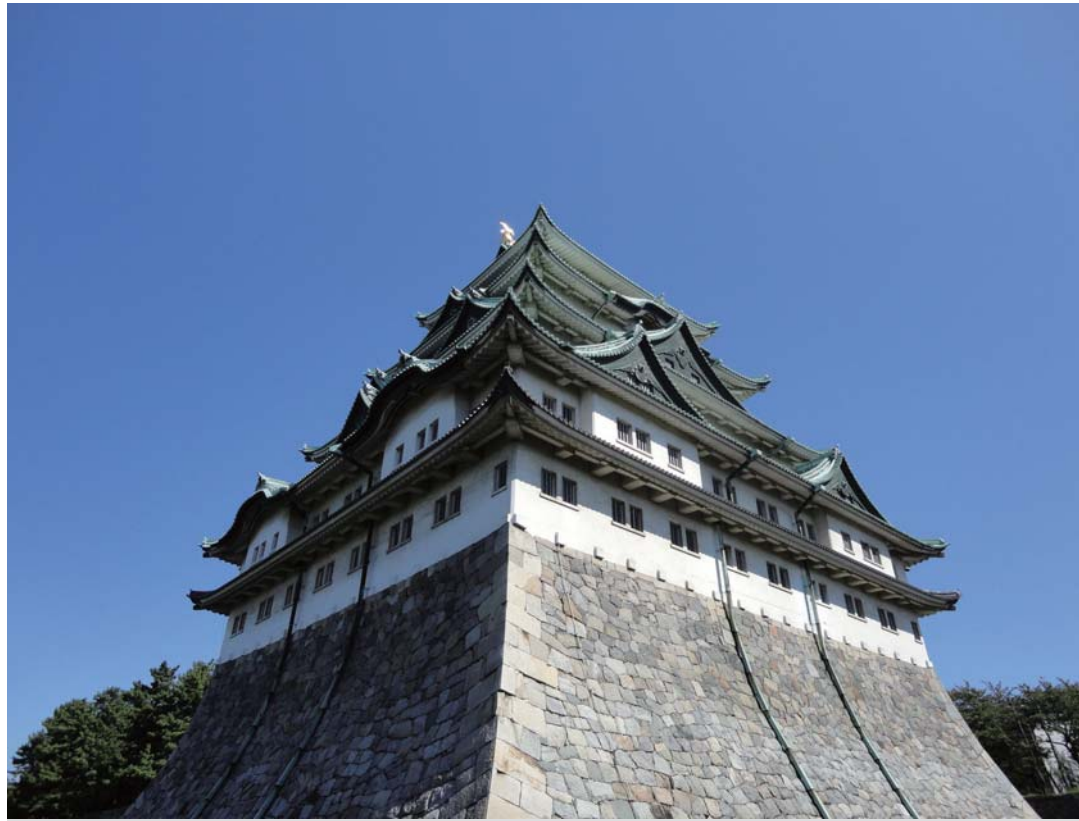


応募者のコメント 清正流三日月石垣。迫力があります。



所在地
中区本丸

内堀沿いから大天守を見上げると、大天守のみでなく天守台石垣がみえる。加藤清正により「扇勾配」という石積法を用い築かれたもので「清正流三日月石垣」といわれている。



応募者のコメント 癒されます。左手には名古屋港の観覧車がチラッと見えます。〔市川茜さん〕



所在地
港区十一屋一丁目

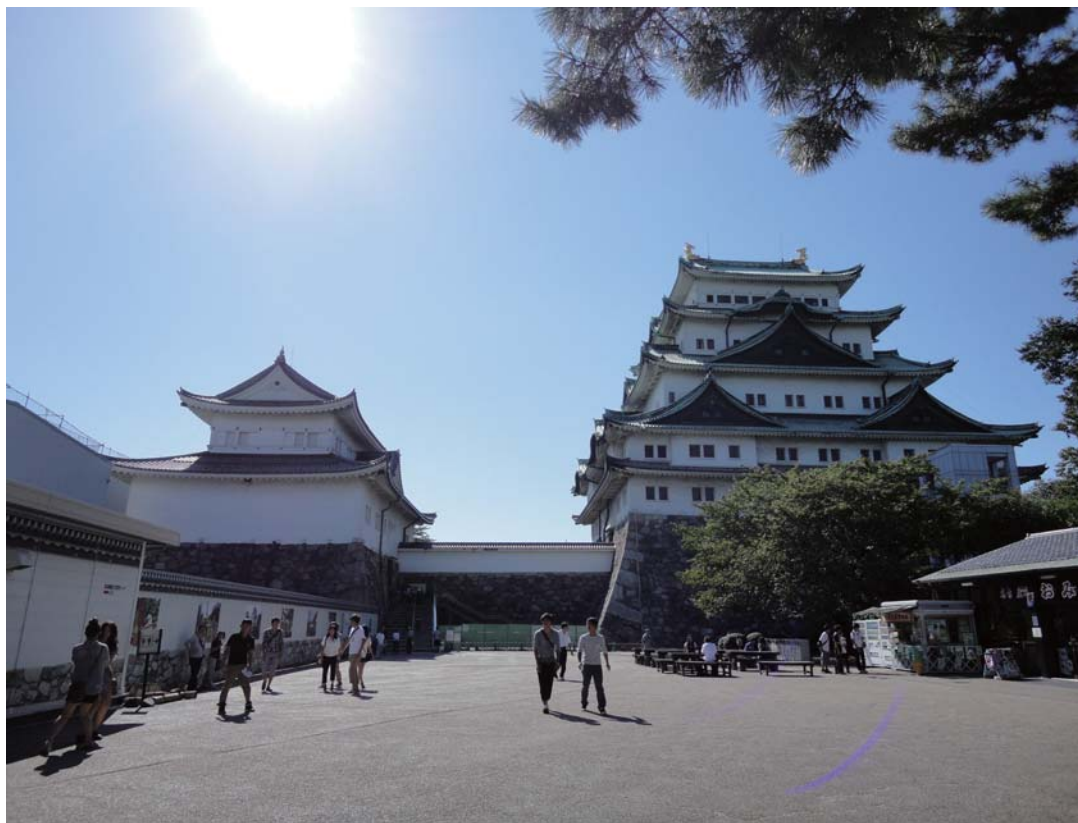
この写真の視点場であるフェニックスブリッジは、昭和62年度都市景観賞受賞の人工の島「荒子川フェニックスアイランド」と対岸を結ぶ橋。フェニックスアイランドには、フェニックス・ワシントンヤシ・ココスヤシ・ソテツなど約170本が植えられ、エキゾチックな南の島の雰囲気が漂い、砂遊びなどが楽しめる。

応募者のコメント 名古屋のシンボルだと思います。



所在地
中区本丸

本丸からは、大天守と小天守の地階を橋台で結ぶ連結式天守の形式を確認することができ、観光客の記念撮影スポットとなっている。名古屋城一帯は国の特別史跡に指定されている。



応募者のコメント

覚王山の閑静な住宅街にある結婚式場です。イタリアの美しい街並みをイメージしてデザインされていますが、周囲の景観に見事に溶け込みながら存在感を醸し出しています。高低差のある場所にうまく建物を配置し、特徴的な中央の階段をはじめ、様々なシーンを創り出しています。前面の歩道の植栽帯ともマッチしており、独特な空間が構成されています。



所在地
千種区御柵町3丁目

椋山女学園中学校・高等学校西側付近は、高低差のある地形が特徴で、階段状の道路や高低差を生かした洒落た建物が並んでいる。覚王山ル・アンジェ教会は平成21年開業の結婚式場。



- 活動団体 なごや東山の森づくりの会
- 活動概要 里山の保全、里山くらし体験
- 管理者 名古屋市
- 設計者 株式会社創建

●里山の家

- 所在地 千種区東明町7丁目
- 概要 木造 平屋建 延床面積132.5㎡
- 開設時期 平成22年9月

●くらしの森

- 概要 面積約60ha
水田、畑、ため池、小川、里山の家など

■講評

名古屋市の東部丘陵にある「なごや東山の森」は、南北約400haにわたり樹林が連なる里山で、都市部にこれだけ広大な自然が残されているのは大変貴重である。2005年の「愛知万博」会場問題で里山が大いに注目され、その後再生や保護運動が名古屋地域でも活発になった。市民・企業・行政の協働による森づくり活動の拠点であり、散策者の休憩所を兼ねる「里山の家」は、屋根の緑が周囲の森とけ込む。その佇まいは、里山を愛し守る人々の心を象徴し、訪れる人々を暖かく迎えてくれている。〔黒田千香子〕





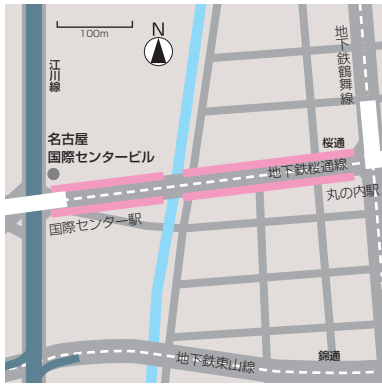
- 所在地
中村区名駅五丁目
- 所有者
株式会社キューブス
- 設計者
株式会社岡本建築事務所
- 開業時期
平成13年8月
- 概要
鉄骨造 地上3階建 延床面積987.13㎡ 敷地面積426.89㎡ (3棟計)



■ 講評

堀川は、グリッド状の城下町台地の西端(地形的エッジ)であり、栄と名駅・那古野地区という質の異なる2つの都市域の移行帯に広大なオープンスペースを提供する、今後の名古屋都市環境創造のホットスポットである。高さを抑え、ファサードを分割して画一的でない川端の界限性を表現し、川面に向かうオープンカフェを積極的に推進する本件の事業姿勢には、収益や流行の追求に留まらないまちづくり-堀川再生への意気込みと理念を感じ取る事ができ、高く評価した。

[水津功]



- 所在地 中村区名駅五丁目～中区錦一丁目
- 本数 120本
- 科・属 イチョウ科イチョウ属(落葉高木)
- 管理者 名古屋市
- 備考 名古屋市都市景観保存樹(平成7年指定)



■ 講評

実は名古屋は、面積あたりの街路樹数が政令市1位。この並木も昭和12年の植樹から戦火や枯死で一旦は減ったが、再整備され120本の巨木に成長した。伏見通から江川線まで、街路に4列構えのたっぷりとした緑や黄葉を楽しめる。秋の美しさも知ってはいたが、ある夜の並木には思わず息をのんだ。街灯に輝くイチョウで、通りがまばゆいほどの黄金色にあふれ、とても神秘的に感じられた。また四季折々や朝夕に、街や人と共に息づくイチョウ並木の表情を楽しみに通りたい。[稀温]





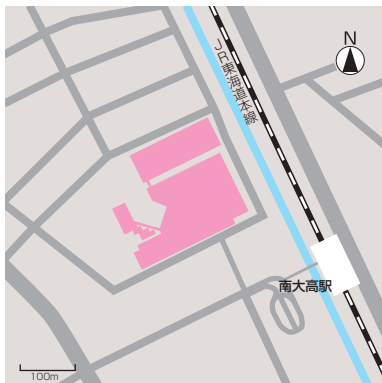
- 所在地
南区楠町
- 本数
1本
- 科・属
クスノキ科クスノキ属(常緑高木)
- 所有者
八幡社
- 備考
名古屋市天然記念物(昭和62年指定)
名古屋市都市景観保存樹(平成8年指定)



■ 講評

小さな境内地いっばいに圧倒的な大きさの命の力が枝を広げている。樹齢千年とも言われ、樹高約20メートル、こぶ状化した根回りは13メートルに及ぶ。鎌倉街道が通る村上社の周辺には今でも古い佇まいを残す家並みや道、地形が散見される。海が入り組んでいた頃には野並、古鳴海への渡船場の目印でもあったといい、『尾張御行記』にも道標として登場するのはこのクスノキと推定されている。クスノキの生きてきた時間が過去と今をつなぐ。「豊かな景観」といわれる姿の原点がここにあるように思える。〔岡田憲久〕





- 所在地
緑区大高町字平子
(名古屋市大高南特定土地区画整理事業地内)
- 所有者
南医療生活協同組合
- 設計者
株式会社日建設計
- 概要
敷地面積17,878.72㎡ 延床面積29,388.74㎡
鉄骨造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造
階数:地上7階
- 開業時期
平成22年3月



講評

JR東海道本線南大高駅と住宅街の間に小さな街を発見！ オーガニックレストランをはじめとする个性的なお店やフィットネスクラブ、保育所、多世代交流館などの施設がそろい、世代を超えた人たちが集うところが、実は病院だというから驚きです。明るく開放的な外観はもちろん、病院のイメージを覆すさまざまな仕掛けなど、地域と一体になって街をつくりあげていくプロセスこそ、「まちなみデザイン」だと思います。[中島幸子]



ヒルズウォーク徳重ガーデンズ、 交通広場・テラス広場及びユメリア徳重

所在地 緑区鳴海町字徳重（名古屋市徳重北部土地区画整理事業地内）
 街区面積 北側(3街区) 16,820㎡、南側(5街区) 19,292㎡

●ヒルズウォーク徳重ガーデンズ

所有者 ユニー株式会社
 設計者 株式会社伊藤建築設計事務所〈ヒルズ棟〉、株式会社青島設計〈ガーデンズ棟〉
 概要 〈ヒルズ棟〉鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）地上4階、地下2階 延床面積66,108㎡
 〈ガーデンズ棟〉鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）地上4階 延床面積5,300㎡
 開業時期 平成22年11月

●交通広場・テラス広場

管理者 名古屋市
 設計者 株式会社青島設計
 概要 鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）
 延床面積4,200㎡
 開業時期 平成23年3月

●ユメリア徳重

所有者 菱晃開発株式会社、名古屋市
 設計者 株式会社青島設計
 概要 鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）
 地上4階 延床面積12,954㎡
 開業時期 平成22年5月



■講評

本施設は緑区役所徳重支所・地区会館・保健所分室・図書館・商業施設等を有する複合施設である。公道によって二つの街区に分割され、一つの街区は駐車場を含む大型ショッピングセンターである。公道を挟んで北側の街区は名古屋市の公共施設・交通施設を含むエリアとなっており、プロムナードにより2分された建物が個性的に対峙している。屋上は緑化が施されドッグラン等が設けられている。立地条件は穏やかな丘陵地であり、地域の中心施設として敷地の持つ環境特性を活かした作品として評価された。〔廣瀬高保〕





第1回名古屋まちなみデザインセレクション
まちなみデザイン20選
まちなみデザイン貢献賞
選集

主催／名古屋市住宅都市局都市計画部都市景観室
TEL：052-972-2732 FAX：052-972-4160
E-mail：a2732@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp
共催／公益社団法人愛知建築士会
株式会社国際デザインセンター
公益財団法人名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター
発行／平成25年3月



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



City of design NAGOYA
Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。
無断複写・複製・転載を禁じます。

